

'92



広報

手賀

3月号
No. 380

祝 手賀小学校 創立115周年記念式

2月29日に、手賀小学校で創立115周年記念式典が行われました。式典のなかで、児童たちの合奏が披露されました。



手賀小で創立115周年記

午前十時に始まつた式典の司会は中澤侯晴PTA会長。野原幸之助さんの開式のことばで式典がスタート。村松重信さんは式典委員長として、手賀小学校の思い出を「赤チヤンコ」に結びつけて回顧。野原小右二実行委員長が、記念式典挙行に至るまでの経過や苦労話を式辞で述べられました。

力は並々ならぬものがあつた
だろうと思ひます……」
祝辞を受けて、清水見龍校
長は「私たち教職員一同、百
十五周年記念事業という稀有
の機会に恵まれたことを大き
な喜びとして、やがて来る、多
様で変化に富んだ二十一世紀
にたくましく生きる子どもた
ちの教育に恵念していくつも
りです」と力強く答えました。
ここで、四年生による合唱
と、五・六年生による合奏（ビ

「ゆうかり」は、B5判
三二六頁上装の豪華本。手
賀小学校の変遷や思い出の
卒業記念写真、思い出の作
文などなつかしい写真が数
多く掲載されており、卒業
生にとつては大切な「一冊
の本」となりそうです。

一方記念碑は、校訓碑・
ユウカリジユの記念碑・小
学校跡地の石碑・中学校跡
地の石碑などが建立されま
した。



来賓のあいさつに耳をかたむける児童たち

尋常小学校に合併。地方自治制実施に伴い連合村を解き、手賀尋常小学校を設立修業年限は四ヶ年。玉造町外三ヶ村（手賀・現原・立花）組合立高等小学校が一閑寺本堂を借用して開設。午後十時失火により校舎焼失。舟津の稚名源次郎氏宅を借用して授業。暴風雨のこの夜に放火され、

22年 4/1	尋常小学校に合併。
25年 4/1	地方自治制実施に伴い連合村を解き、手賀尋常小学校を設立。修業年限は四ヶ年。
25年 4/1	合立高等小学校が一閑寺本堂を借用して開設。
35年 1/15	午後十時失火により校舎焼失。
35年 9/28	舟津の稚名源次郎氏宅を借用して授業。
35年 1/20	暴風雨のため仮校舎倒壊。養徳寺を借りて授業。
35年 12	校舎敷地を字富士ノ下に指定。
36年 8/31	新校舎落成(前校舎授業開始のためこの日を開校記念日に)。
39年 9/22	教員住宅新築落成。
42年 4/1	実業補習学校を附設手賀村立実業補習学校に。
42年 3/28	増築校舎落成。三教室(旧中校舎)。
42年 4/1	高等科を併置し、手賀尋常高等小学校と称す。
13年 6%	校舎増築完成(職員室・裁縫室)
15年 7/1	手賀村立青年訓練所

典式式念

私達の手賀小学校が、新宿の「養徳寺」にて手賀学舎として明治七年に開かれ、百十一年の歴史と伝統を伝え、そして幾多の秀英なる先輩諸兄を送り出して参りました。これ等の輝かしい業績を顕彰する事は、私達に果せられた義務であり、また、使命であると存じます。

創立百十五周年記念
事業実行委員長

二十一世紀に向う我等が母校

式典委員長と三部門にわたり効率の良いご活躍を戴くことができました。

手賀小学校の変遷をたどる貴重な写真や、卒業記念写真が掲載され



記念誌『ゆうかり』

手賀小学校の沿革

清水さんが「医療」「福祉環境」の意見発表

—鹿行北部地域の『知事を囲むつどい』で—

竹内知事に県民の声を聞いてもらおう

が意見を述べました。

と『知事を囲むつどい』が、二月十九日に鉢田町のさわやホテルで開かれました。

病の増加など疾病構造の変化に対応する県民の声を県政に反映させ、あすの県づくりに活かそうと開かれたもので、今回の『つどい』は鹿行北部地域の六町村（鉢田町・旭村・大洋村・大野村・北浦村・玉造町）が対象。

県からは竹内知事をはじめ、鹿行地方総合事務所、各部局の主任企画員らが出席。六町村からは、町村長、議會議長、住民の代表者。県議会から鹿島行方両郡選出の議員等が出席しました。

玉造町からは、住民代表として代々木正文さん（町商工会青年部）・飯島雅之さん（農業後継者）・松金文雄さん（町区長会長）・島田輝子さん（沖洲区婦人会長）・阿部君子さん（町交通安全母の会副会長）・清水春江さん（ボランティアグループ「ほたる灯」会員）・田宮みづさん（絵本の会「ひこばえ」会員）の七人が出席。町を代表して清水春江さん

が意見を述べました。

清水さんは、①「高齢化の進行や成人

が意見を述べました。

</



表彰された皆さん

平成3年度 読書感想文コンクール入賞者及び題名

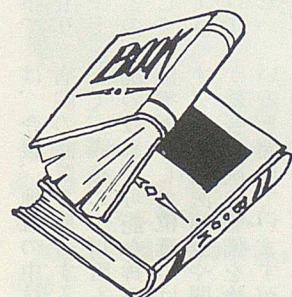
(敬称略)

賞名	氏名	学校・学年	題名
町長賞	小峰智之	玉造小1年	「一円電車できたほらちゃん」を読んで
議長賞	千ヶ崎早苗	玉造中3年	「山月記」—私の多感な猛獣たちに—
教育長賞	平野仁美	玉造中1年	「屋根裏部屋の秘密」を読んで
	中桐優太	玉造小2年	「びりっかすの神様」を読んで
	平間朋恵	現原小6年	「大五郎は天使の羽をつけた」をよんで
部会長賞	風間裕子	現原小4年	「先生のわすれられないピアノ」を読んで
	宮崎史仁	玉造小4年	「ふんわり太平洋」を読んで
	貝塚祐子	玉造西小2年	「トイレのかみさま」を読んで
	高木有子	玉造中3年	「かぎりなくやさしい花々」を読んで
図書館長賞	幡谷尚子	羽生小3年	「びりっかすさんは、神様です」を読んで
	滝山愛美	玉造小6年	「クリスマス、キャロル」を読んで
	本こずえ	玉造中2年	「床下の古い時計」を読んで
	政所麻結子	羽生小4年	「ちいさないのちのおくりもの」を読んで
	貝塚愛	玉造中1年	「愛、深き淵より」を読んで
佳作	川島優子	玉造西小5年	「地球にやさしい二十四時間」を読んで
	阿部奈緒	玉川小1年	「星のかけらの首かざり」を読んで
	星野正登	玉川小4年	「とべ！ゆうたろうトンボ」を読んで
	栗山朋子	手賀小5年	「幸運の子馬」を読んで
	飯田一	手賀小3年	「としばあちゃんのケン玉作戦」を読んで
	田中延枝	玉造中2年	「かあさん、死ぬなんていや」を読んで

図書館主催

読書感想文コンクール

～町長賞に小峰智之君（玉造小1年）～



玉造町立図書館主催による「平成3年度読書感想文コンクール」で、町長賞に玉造小学校一年の小峰智之君の作品『「一円電車できたほらちゃん」を読んで』が選ばされました。冬休みを利用して行われた読書感想文コンクールには、町内の小中学校から合わせて一千百三十九点の作品が寄せられ、審査の結果二十人の皆さんのが入賞に選ばれました。（別掲）表彰式は一月三十日に町立図書館で行われ、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

入賞作品の中から、町長賞、議長賞に選ばれた二点を紹介します。

「一円電車できたほらちゃん」をよんで

玉造小一年 小峰智之

「ぼくのいなかでは、一円のお金でれる電車があるんだよ。」といったとき、ぼくもそんなうそついちゃダメだと思つたよ。だけどね、本をどんどんよんでもいると、ほらちゃんは本とうはとてもやさしい男の子だつてことがわかつてきたんだ。

学校でマラソン大会がひらかれたときだつた。ほらちゃんは「ようちえんのときは、いつもマラソンで一ぱんだつたんだよ。」とまたほらふいちやつたから、みんなに、「そしたら、ゆうしょうしてみろよ。」といわれちやつたんだ。ほらちゃんは、ゆうしょうしないとクラスのみんなに、やっぱ

一円電車のことやゆき山のことがテレビでしようかいされたとき、とかいのみんなはほらちゃんのはなしでいたことが、ぜんぶ本とうのことだけわかつたんだ。ぼくもみんなといつしょになつて一円電車のことをうたがつたりしてごめんよ。

ぼくは、この本をよんで人はなしをたしかめもしれないうちからうがつたり、ばかりにしたりしてはいけないこと

がわかつたんだ。てん校してきたばかりの子は、しばらくともだちもできなかつたりはつてわかつたんだ。ぼくもみんなといつしょになつて一円電車のことをうたがつたりしてごめんよ。

（ああ、まえの学校にもどりてあげたんだよね。ほらちゃん、えらいぞ。えりちゃんも、みたほらちゃんは、ゆうしょうのことなんかわすれて、えりちゃんといつしょにはしつてあげたんだよね。ほらちゃん、えらいぞ。えりちゃんも、みたほらちゃんは、ゆうしょうしてみるよ。）

もし、てん校したばかりでなかなかともだちができないでいる子をみつけたら、ぼくは、一ぱんにともだちになつてあげようともうなんだ。

ほらちゃん、とかいのみんなとなかよくなれて、本とうによかつたね。えりちゃんでのビデオかいは、きっとのいいかいになるよ。みんないつまでもなかよくしてあげ

ね。

ぼくは、『ほらちゃん』という名まえのいみが、はじめわからなかつたんだ。

石山くんは、てん校してきたばかりでともだちが一人もいなからなかつたんだ。

石山くん。ひょうなに『ほらちゃん』なんてとげんのいなかから、えりちゃんとたちのすんでいるとかいちゃんは、ゆうしょうしないとクラスのみんなに、やっぱ

議長賞

「山月記」—私の多感な猛獸たちに—

玉造中三年

千ヶ崎 早苗

「変心」という言葉がある。私は、それが決してこの身には起らぬことだと、もつては起らぬことだと、そして私は、そういう類の話に飽きた。そう、例えばこんな話。

「王様は、香箱の匂いを嗅ぐと、こう唱えました。ムタボール!!」すると王様からだには、また聞く間に、真白のコウノトリになってしましました。

鉤のようにとがって、くちばしとなり、ああ、王様は、純白の羽が生え始め、口は、

こんなことが、実際にできるなら、さぞ楽しいに違いない。幼い頃、私はこの王様にあこがれ、これがインドの香箱にあこがれて、手に入れたいと願つたのだ。實に無邪

気なものだつた。だが、年とともにごく自然にこの話も、心のずっと奥底に聖地に、サンタクロースと共に、置いておいた。

私は、その想いを、眠らせるためにしたのだ。

それは、深い眠りだつた。

私が、現実の生活に触れるこ

とに、その不思議な記憶は、埋もれていた。むしろ私はこの類の話に飽きたのではなく、自ら、遠退いていたのではないだろうか。

そして今、再び、深い眠りから目覚めた記憶の中で、新しく沸き起こってきた感情を必死で押さえつけようとしている。私は、私自身の驚きと、恐怖の中から出られずにいる。それは、今までの幻想的なおと

うのだ。つまり、心も虎に完結なる虎になつてゐるのだ。

狂気だ。—そう、狂気。自分的心が、自分のものではな

くなること。狂気なのか。それゆうに、人を食うのか。

も、なぜ虎に?

そこまで考えて、私は、ぞっとする自分を感じた。私の中の、一つの自信がゆらいだ。

それは、変身なんでものは、有り得ないのだという、絶対の自信だつた。でも今、もしも、もしも私の心が私の中に存在しなくなつたら、何か別のものに、心を支配されてしまつたら、その時私は、私の姿でいられるだらうか。自信

話をとは、ちがつた形の变身譚。はつきりと言うならば、二度ともとの姿に帰れない。そして、人間の心が消えてしまつ、永遠のメタモルフォーゼ。男は、ある日突然、虎になつて、夜人を襲うのだ、食うために。私はぞくつとした。

何か、人間的ではないものを

感じたのだ。普通の人虎なら間違つても、人を食うことはないはずだ。(もつとも人虎などはいないと思うが)なぜなら体は虎でも、知能や考え方は、人間のままだと思うから。しかしその虎は、人を食うのだ。つまり、心も虎に完結なる虎になつてゐるのだ。

狂気だ。—そう、狂気。自分的心が、自分のものではな

くなること。狂気なのか。そ

れゆうに、人を食うのか。

も、なぜ虎に?

そこまで考えて、私は、ぞ

っとする自分を感じた。私の

中の、一つの自信がゆらいだ。

それは、変身なんでものは、有り得ないのだという、絶対の自信だつた。でも今、もしも、もしも私の心が私の中に存在しなくなつたら、何か別のものに、心を支配されてしまつたら、その時私は、私の姿でいられるだらうか。自信

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

からうたがつたり、ばかり

にひつこして來た石

山君のことを、さび

しくつて前の学校の

じまんばかりして、ほん

ていやなあだ名をつ

けられたけど、ほん

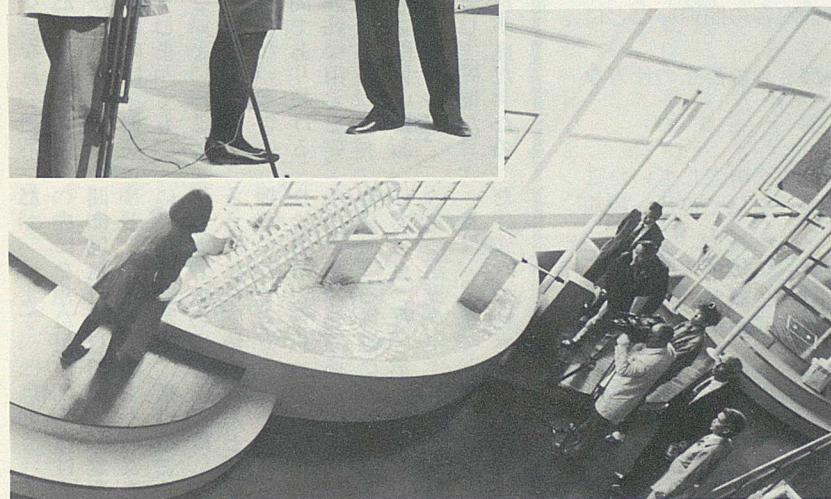
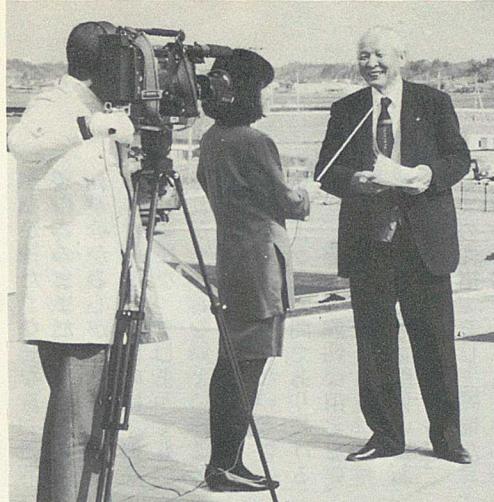
とはやさしい子だとわかり

人の話を確かめもしない

NHKで「水の科学館」を放映

～3月18日に～

4月29日オープンする『霞ヶ浦ふれあいランド』の「水の科学館」が、3月18日のNHK（1チャンネル）で放映されました。その録画どりが3月2日に行われ、坂本町長は水の科学館の玄関前に立ち、オープンに向けてさかんにピアールをしました。



アナウンサーの質問に応じる坂本町長（上）
水の科学館内部の録画の様子（下）

玉造女性地域活動交流協議会が発足

～男女共同社会で女性の役割を模索～

今まで、町内の各種地域活動を実践してきている女性グループの話し合いの場がなったことを踏え、さる二月十日の婦人研修会を契機に

從来から地域ごとに活動を展開してきた婦人会をはじめ多くの学習グループが参加し準備会がもたれました。

渡辺正則町教育長の進行で初代議長に玉造町地域婦人団体連絡会会长の荒井千代さんがまた副議長に玉造町民生委員協議会婦人部長の山口みつさん、それぞれ選ばれました。

今後は、年二回程度の交流会を持ち、地域の問題や各団体の活動状況など情報交換をする予定です。協議会では、一緒に話し合いで参加される仲間を募集しています。会費などはなく、

集まれ！学ぶ女性のみなさん。実践／行動派の女性のみなさん。

玉造女性地域活動交流協議会（玉造町甲四〇四）

五五一〇一一一、玉造町教育委員会内 社会教育係

住民参加の地域福祉をテーマに熱い討議をテーマに熱い討議

平成三年度地域を

考える女性の集い

昨年度より地域の問題を取りあげ、参加者全員の声を大切にする研修会を目標にしている玉造町地域婦人団体連絡会では、今年度のテーマを「みんなで創る地域福祉」と掲げ、さる二月十一日に開催さ

れました。

はじめに、土浦短期大学教

授の三澤晴子先生による「住

居老人への給食サービス」、

勝田市高齢者福祉事業団職員

の内田みよ江先生による「独

居老人への給食サービス」、

講演後のパネルディスカッ

ションでは、参加者のなかか

ら地域福祉に地域の住民がど

のように関わればよいのか活

動を実践してきている女性

グループの話し合いの場がな

ったことを踏え、さる二月

十日の婦人研修会を契機に

從来から地域ごとに活動を

展開してきた婦人会をはじめ多くの学習グループが参加し準備会がもたれました。

渡辺正則町教育長の進行で

初代議長に玉造町地域婦人団体連絡会会长の荒井千代さん

がまた副議長に玉造町民生委員協議会婦人部長の山口み

つさん、それぞれ選ばれま

した。

今後は、年二回程度の交流

会を持ち、地域の問題や各団

体の活動状況など情報交換を

する予定です。

協議会では、一緒に話し合

いで参加される仲間を募集し

ています。会費などはなく、

渡辺正則町教育長の進行で

初代議長に玉造町地域婦人団

体連絡会会长の荒井千代さん

がまた副議長に玉造町民生委員協議会婦人部長の山口み

つさん、それぞれ選ばれま

した。

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

欲しきもの無き安らぎに歩み
来て薊模様のベンケース買ふ
笹目 久子

朝早く納豆工場の前の路蒸れ
朝早く納豆工場の前の路蒸れ
耳鳴りのはげしき日頃耳に手
を当てる仕草の慣ひとなりぬ
白井 可祢

小沼 正蔵

吾が足の痩せたる指をひとつ
づつ娘は分けて洗ひ流しぬ
小野口 トク

苔谷 富栄

ひよどりの啼きて過ぎたる橋
林枝先赤く芽のふくれたり
苔谷 富栄

今年こそ成さむ仕事を語りつ
つ元朝の膳家族くつろぐ
郡司 春枝

われのみに通じる孫の片言を
の枯れし菜の葉に寒くまつわ
る
高野 整儀

白鷺は白き田の中歩み居り雪
の朝の目映い中に
奥田 尚子

耳鳴りのはげしき日頃耳に手
を当てる仕草の慣ひとなりぬ
並木 富茂恵

白鷺は白き田の中歩み居り雪
の朝の目映い中に
奥田 尚子

耳鳴りのはげしき日頃耳に手
を当てる仕草の慣ひとなりぬ
並木 富茂恵

耳鳴りのはげしき日頃耳に手
を当てる仕草の慣ひとなりぬ
並木 富茂恵

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

八木 操

仙台にこれから四年学ぶ孫の
支度あれこれ気忙しく居る
滝崎 富美

俳句教室

衣干す朝のひととき暖かく風
寒雀二羽づつ並ぶ屋根の峰
に光りの揺れる庭先
鈴木 和代

鈴木 節子

潮風の和らぎし碑に黙祷し殉
國七士のおもかけ偲ぶ

暮らしの ワンポイント

世界中でイカを一番よく食べるのは、日本人だといわれています。

イカにはいろいろ
な種類がありますが
家庭料理に使われる
のはヤリイカ、スミ

イカ、そして「するめ」の材料にするスルメイカが主なものでしょう。新鮮なイカは刺身にしても、焼いても、てんぶらにしてもおいしいのですが、やつかいなのは皮むきです。ヌルヌルしていくとこぎります。

イカの皮は四層あります、むくのは上層の表皮です。丁寧にむくときはその下にある薄皮も取ります。

イカの皮むき



通り止 通していります。綿維に必ず切れ目が入るように、「格子型」に縦と横の二方向から包丁を入れます。

滑り止めに塩をつける

ります。薄皮は、表皮の薄い皮をむいた後、ナイロン・ネットでを丸めてこすると樂に取れます。特に、てんぷらにさるときには薄皮が残っていると油が飛んで困りますから、丁寧に取つておきましょう。

泉中浜根古園若海宿生宿上宿羽生宿西蓮寺浜諸井宿とごる

田 飯 加 金 根 堀 横 川 小 島 関 茂 出 氏
神 島 固 塚 崎 田 田 島 口 木 沼 益 之 助
一 り 留 ア さ き 政 倫 一 郎 つ 吉 ヤ 助 子 隆 名
郎 つ 吉 ヤ 助 子 隆 名

誕生おめでとう
ございます

产

おくやみを
申し上げまし

死亡
八月

緑が育つ人が育つ
緑の大地夢ある国士

國土綠化運動強調期間

3月～5月

善意銀行

県民文化センター催し物

☎ 0292 (41) 1166

5/25(月)	ミュージカル 「東京キッドブラザース」
6/2(火)	リチャードクイレーダーマン
3(水)	リンド・バーグコンサート
5(金)	加藤登紀子
11(木)	プリンセスプリンセス
7/6(月)	稻垣潤一
9(木)	キエフ・バレエ団&管弦楽団

先月号14頁で、関野寿江は
関野吉陽君の誤りでした。訂
正しておわびをします。